

平成27年度 甲賀市決算

「あいこうか國づくり予算」として平成27年度に行った主な事業のうち、4つの重点テーマおよび甲賀の國づくりプロジェクトを中心に紹介します。(繰越事業含む)

①元気と安心、みんなで守る甲賀の暮らし

●セーフコミュニティ推進事業
1,398万円
より安心安全なまちづくりに向け、世界基準のセーフコミュニティの認証取得にかかる業務を委託し、約3年間にわたる活動実績に基づき、認証申請書及び現地審査において報告を行い、平成28年2月にセーフコミュニティの国際認証を取得しました。



▲セーフコミュニティ認証式典

●第2次甲賀市総合計画策定事業
342万円
市民の皆さんに参画いただき、平成29年度を始期とする第2次総合計画の策定に取り組み、基本構想の骨子案までを検討することができました。

●新庁舎整備事業
2億5,096万円
大規模災害時の防災拠点整備および市民の利便性の向上を図るため、新庁舎建設工事に着手しました。

●甲賀大原地域市民センター改築事業
5,008万円
甲賀地域の防災拠点整備及び地域住民の身近な行政窓口の充実を図るため、甲賀大原地域市民センター改築工事の設計を行い、旧庁舎の解体を実施しました。

●災害対策事業
671万円
防災倉庫の備蓄資機材について、設備の充実を図りました。また、防災士の育成に努めるとともに、資格

取得者(94人)による「甲賀市防災士連絡会」を設立しました。



▲甲賀市防災士連絡会全体会

●市街地整備事業
2億4,162万円
甲南駅周辺整備事業では、甲南駅前線の全部、南口駅前広場の大部分の用地買収等を行い、一部区間の道路改良工事を行いました。

また、土地区画整理事業では、貴生川西内貴土地区画整理事業は、北工区の造成工事の一部が完成し、(仮称)綾野東部土地区画整理事業では、

事業コストの検討を行いました。

●新町・貴生川幹線内貴橋改築事業
1,165万円
交通量が多くライフラインが集中している内貴橋は老朽化が著しいため、架け替えに向けて測量調査を実施し、また河川管理者と協議し、予備設計をまとめることができました。

●きめ細やかな河川防災協働事業
239万円
集中豪雨等の異常気象が発生する中、河川が持つ本来の流下能力の確保のため、土砂等の浚渫や撤去工事を実施するとともに、自治会等が施工する災害未然防止対策工事を支援しました。

●生涯現役の健康づくり事業
(地域包括支援システムの構築)
674万円
住み慣れた地域で可能な限り暮らすことができるよう、高齢者等の多様な課題を相談し、日常生活の自立を図るため、在宅リハビリテーション支援事業や高齢者健康づくり事業を実施しました。

②学びと育ち、きずなが育む甲賀の未来

●子育て応援医療事業 437万円
子育て世代の負担軽減を図り、子どもの健やかな成長につなげるために、小学1年生から小学3年生の全ての児童を対象に、通院・入院にかかる医療保険の自己負担額の全額を助成しました。

●こっか子ども・子育て応援ネットワーク事業 31万円
「こっか子育て応援ねっと」を開設し、子育て情報を発信しました。また、こっか子ども・子育て応援ネットワーク形成事業補助金を創設し、子育て支援の連携・協働を支援しました。

●子育て支援員配置事業
1,096万円
市内5カ所の子育て支援センターに各1名の支援員を配置することにより、相談業務の充実や子育てサークル等への支援を行い、地域の子育て支援の充実を図りました。



▲子育て支援センター

●元気なまちづくりあんしん&すこやか保育応援事業 6,471万円
低年齢児保育の需要増に応えるため、家庭的保育事業所を一カ所認可したほか、私立柏木保育園の増築等補助により就学前児童の受入れ数を増やすなど、保育体制の整備・強化を図りました。

●学びの支援事業 2,434万円
少人数学習指導や夏休み・放課後教室を実施し、学力向上に取り組みました。また、優れた技術や知識をお持ちの地域の皆さんに「地域学」の授業補助をお願いし、さまざまな体験活動を展開しました。さらに、小1すこやか支援では、多人数学級に支援員を配置し、児童に寄り添い支援を行いました。

●確かな学力育成事業
5,399万円
学びをサポートするテレビ学習番組を作成し、学習意欲の向上と学力の定着につなげることができました。また、複数の加配教職員を指定校に配置し、学習支援の体制をつくりました。さらに、情報端末等を効果的に活用した授業の展開を図りました。

③創造と交流、進化が生みだす甲賀の活力

●住み続けたいまち「甲賀」をめざす経済活性化事業 610万円
若年層を対象とした「甲賀JOBフェア」や「障がい者就職面接会」を開催し、市内企業への雇用の促進を図りました。また、県外から県立信楽高等学校に入学した生徒の生活を地域ぐるみで支援することで、地域の活性化や交流につなげました。

●来て魅く甲賀観光誘客促進事業 2,450万円
紫香楽宮史跡を活用した初の大規模イベント「紫香楽宮都あかり」の実施を支援したほか、観光キャンペーンや観光季刊誌の製作、観光客を迎える施設の整備を実施しました。

●捕獲から活用へ鳥獣害対策事業 1億425万円
二ホンジカ等3,498頭の有害鳥獣を捕獲し、侵入防止柵19.2kmを設置したほか、地域との協働により、獣害に強い里づくり事業を4地区、緩衝帯整備事業を5地区、地域ぐるみ捕獲推進事業を1地区で実施しました。

●(仮称)甲賀北地区工業団地整備事業 4,129万円
先行整備を実施する15.8haの測量調査等を実施したほか、関係地

権者の事業同意を概ね取得したことで、事業主体・手法の決定に向けた事業実施予定者の選定作業に着手することができました。



▲(仮称) 甲賀北地区工業団地

●名神名阪連絡道路整備効果検討事業 311万円
地域高規格道路における整備区間指定に向けて、整備効果の検討を実施し、その成果資料を活用して国等に対して要望を行いました。

●土山SA周辺地域利活用及び甲南IC・PA流出経路検討事業 928万円
土山SA周辺地域の未利用地を最大限に活用したまちづくり構想案を計画することができました。また、甲南IC・PA流出経路はNEXCO西日本と協議を進める中で、下り線側の流出経路計画についても理解を得ることができました。